

（５）主要花きの入荷と価格の見通し

仙 台 市 中 央 卸 売 市 場 花 き 市 場
(電話) ２ ３ ２－８ １ ２ ３

【切花類の概要】

今年は台風等の自然災害は少なかったものの、夏場の高温の影響から生育が前進傾向の品目が多く、秋以降入荷は前年より減少傾向にあります。国内物に関して年末需要期は少ないことが見込まれ、品目によっては品薄が予想されます。全体的に注文価格の上昇により、小売店からの注文数量や購入数量の減少が懸念されます。入荷のピークは１２月２２日（月）から２６日（金）にかけてと予想されます。年末年始の輸送面に懸念はあるものの、年始は前年並みの入荷は見込まれます。それ以降も前年並みの入荷で推移することが予測されます。

【品目別】

キク	輪菊は宮城・栃木・静岡・愛知・福岡・熊本・宮崎・長崎・沖縄産です。産地では品目転換や暑さ対策を講じるなど努力はしているものの、入荷数量は減少傾向にあります。ピンポン菊は作付けする産地も増加傾向にあり、安定した入荷が見込まれます。スプレー菊は宮城・栃木・愛知・鹿児島産が中心で、前年並み入荷が見込まれます。輸入スプレーマムの動向は不透明ですが、国内産地の生育が前年より良好なため、前年より引き合いは減少する見込みです。小菊は沖縄産が中心で高温等の影響はあるものの、台風の影響が少なく、堅調な生育と入荷が見込まれます。１２月中旬から入荷は増えますが、前年より少ない入荷が見込まれるものの、価格は上位等級品を中心に前年よりやや低めが予想されます。
バラ	宮城・山形・栃木・静岡・愛知産中心の入荷となります。国内産は前年並みの入荷が見込まれるものの、全国的に国内産が減少しているため、輸入品が増加傾向にあります。クリスマス需要から１２月２０日以降は引き合いが強くなり、上位等級を中心に高値相場が予想されます。年始以降は燃料代の高騰で暖房費を抑える傾向にあるものの、入荷は前年から横ばいで推移し、価格も前年並みと予想されます。
カーネーション	宮城・愛知産中心の入荷となります。大輪系、スプレー系とも猛暑の影響で、前年より草丈は短くやや前進傾向にあり、入荷量は前年からほぼ横ばいと見込まれます。品質は前年並みと予想しています。輸入品はコロンビアと中国産を中心に前年並の入荷が見込まれます。年明け以降は業務需要中心となり前年並みかやや高めの価格が予想されます。
マツ	茨城産中心の入荷となります。１０月中旬以降生育は概ね順調で、猛暑の影響にもかかわらず、全般的に生育は良好でした。切出し、選別作業の人員確保が困難でしたが、作業の機械化を進め、安定した入荷が見込まれます。根引松、五葉松などの特殊系は少なめの入荷で、やや高めの価格が予想されます。若松は草丈が長めで上位等級が多くなり、３等品は少なめで、前年並みの価格が予想されます。
千両	茨城・千葉・静岡産中心の入荷となります。前年は上位等級が中心であったが、今年はバラ実もあり、上位階級から下位等級まで分かれており入荷はやや少なめと見込まれます。１等品、２等品、３等品とも前年並みの価格が予想されます。色付きは前年より早くなっています。

【鉢物類の概要】

１１月以降はシクラメン、ポインセチア、シンビジューム等中心の入荷となっています。猛暑の影響により花鉢、花苗、ラン類で生育遅延が生じています。１２月上旬はお歳暮商戦に向けた高品質なものが多く入荷します。燃料費や輸送コスト、資材費の高騰や人件費の上昇により注文単価を値上げする産地が増えています。年末年始はヒアシンズ、チューリップなどの球根類とポリアンサやオブコニカ等のプリムラ類、早春の草花類中心の入荷となります。

【品目別】

シクラメン	岩手・秋田・宮城・福島・茨城・栃木・群馬・千葉産中心の入荷となります。猛暑の影響で約１～２週間の生育の遅れが出ています。１１月下旬から１２月上旬に入荷のピークを迎えます。産地が多く、かなりの入荷増となることが予想されるため、価格は前年並みと予想されます。
シンビジューム	栃木・埼玉・千葉・山梨・愛知産中心の入荷となります。全般的に生育は順調で、１２月上旬から本格的な入荷となりますが、メイン産地の山梨、愛知は生産量の減少に加え、運賃負担が大きく入荷増は難しい状況にあります。２～３本立ちなどの引き合いは強く、価格は前年並みと予想されます。